

11月7日・8日 近畿ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【近畿ブロック】 ホテルプリムローズ大阪

講師：瀧本 優子氏（SST 普及協会認定講師）、足立 一氏（SST 普及協会認定講師）、
北岡 祐子氏、福永 佳也氏、上原 央氏、片山 和美氏

参加者：26名（大津2名・京都4名・大阪10名・神戸6名・奈良1名・和歌山3名）

初めに、SSTの基礎理論についての講義があり少年刑務所や更生保護施設で、どのようにSSTが活用されているかについて実際に行っている講師から紹介がありました。

続いては、コインマップについて説明です。実際に隣の席の人とコインマップを体験したところ、「対象者との距離を縮めるのに活用できる」、「自分の気持ちがコインを通して正直に話せるように感じた」等の感想がありました。

その後、問題解決技能訓練の説明（教材「生きる力をつける支援のためにー保護司面接のためのSSTマニュアルー P63）があり、実際に、「来訪に応じない対象者の対応」について問題解決技法を用いて、短所・長所等についてみんなで意見を出し合いました。



コインマップの様子



問題解決技法を用いた演習の様子

2 日目は、体を使ったウォーミングアップから始まり、講師のシナリオによるデモンストレーション（同教材 P 5 0～5 5、P 5 7～6 0）を見た後、3つのグループに分かれて、面接練習を行いました。練習課題として、「地元の悪い友達に誘われた時の対応」、「前向きな気持ちを伝える」、「目標や希望はあるが実行できない」等が挙げられました。



講師による
シナリオデモンストレーション



Aグループ
「目標や希望はあるが実行できない」をテーマに
2人1組での面接練習



Bグループ
「就職の面接を受ける」をテーマに面接練習



Cグループ
「鉄骨作業で失敗した時の対応について」をテーマに
面接練習

26名の参加者が、10時間の研修を終え、講師からST普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。